

御案内



認可保育所 七飯ほんちょう保育園
児童発達支援センター にじのはし



子どもたちをまっすぐにすくすくと
育てる「杜」でありたい。

も う こ り た



忘己利他

子供と家庭にとって一番の応援団を目指して

ごあいさつ

社会福祉法人聖樹の杜は2010年2月に設立されて以来、「忘己利他」の理念のもと、各事業所を利用する子ども達、ご家族の皆様のたくさんの笑顔のために、職員一丸となって日々業務を行っております。

当法人は、多様な福祉サービスの担い手としての責務を認識し、我々に関わりをもって下さる全ての人達が満足できる福祉サービスを提供できるよう、一日一日を大切にしております。また、より一層、高い専門性を求め日々尽力していくと共に、働くスタッフもやりがいを持って仕事が出来る環境も併せて整えて参ります。

今後も、子供と家庭にとって一番の応援団を目指し、地域に根差した法人運営を継続して参ります。ご相談ご要望などお気軽にお問い合わせください。

社会福祉法人聖樹の杜 理事長

秋田 広樹
Hiroki Akita



『地域に愛される施設づくり、人づくり』

私共は、経営理念である「忘己利他」（己を忘れて他を利する）を心掛け、一人でも多くの方が笑顔になれるような福祉サービスを提供することにより皆様のお役に立てることを喜びとしております。皆様から信頼され続ける経営を実践することで、地域社会および地域福祉の充実や発展に貢献できるものと考えます。また、お互いに尊重し成長できる風土を整えることで、職員一人一人が思いやりと責任感を持って行動できる働きがいのある職場環境を目指します。

■ 会社概要

法人名	社会福祉法人 聖樹の杜
所在地	亀田郡七飯町本町3丁目18番12号
連絡先	TEL 0138-65-8000 FAX 0138-65-3805
Email	info@sej.or.jp
URL	http://www.sej.or.jp
設立	2010年2月
従業員数	72名（令和3年4月1日時点）

■ 事業内容

第二種社会福祉事業

- ・ 保育所の経営
- ・ 一時預かり事業の経営
- ・ 病児保育事業の経営
- ・ 障害児通所支援事業の経営
- ・ 障害児相談支援事業の経営
- ・ 特定相談支援事業の経営



七飯ほんちょう保育園

- ・ 認可保育所
- ・ 定員 90名
- ・ 認可年月日 平成22年4月1日
- ・ 対象年齢 0歳児～5歳
- ・ 保育時間 7時～18時
(～20時までは延長保育)
- ・ 特別保育事業 延長保育、一時預かり、体調不良児
対応型病児保育事業

■ 沿革

2010年2月	社会福祉法人聖樹の杜設立
2010年4月	七飯町より「七飯町立本町保育所」の移管を受けて運営を始める
2011年1月	七飯町本町に園舎を新築し、七飯町立本町保育所を移転「七飯ほんちょう保育園」として開園する
2015年10月	七飯町本町に障がい児通所施設「にじのはし」を新築し開所
2015年10月	にじのはし新築に伴い同施設2Fに法人本部を移転

■ 取り組み

- ・ 会議室無償貸し出し
- ・ 自閉症啓発デーへの企画参加



児童発達支援センターにじのはし

- ・ 障がい児通所施設（多機能型）
- ・ 実施事業 児童発達支援（福祉型児童発達支援センター）、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障がい児相談支援
- ・ 定員 児童発達支援：20名
放課後等デイサービス：20名
- ・ 指定年月日 平成27年10月1日
- ・ 営業時間 月曜日～土曜日 9時～17時

全ての職員が働きやすい “職場環境作り”

子育てサポート企業

聖樹の杜は、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画に定めた目標を達成し、子育てサポート企業として厚生労働省認定の『くるみんマーク』（令和3年6月1日付）を取得しました。

年次有給休暇の取得推進をはじめ、育児休業の取得率100%を目指し、男性も育児休業を取得できるような仕組みづくりの整備の他、小学校就学前までの育児をする職員を対象に短時間勤務制度の導入や、所定外労働削減のための規則の整備を行いました。

くるみん認定は、仕事と子育ての両立支援に取り組む優良な子育てサポート企業として、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定、達成するなど一定の基準を満たした企業が受けられるものです。

これからも、子育てを応援する地域の企業として先陣を切って、仕事と子育てを両立させることのできる環境を整え、全ての職員がその能力を存分に発揮できるような環境づくりに取り組んでまいります。



北海道働き方改革推進企業

当法人では、働き方改革に積極的に取り組んでいます。

全職員が、仕事でのやりがいや使命感を感じ全力で職務へ取り組めるよう、各種休暇の取得推進をはじめとして、研修制度を充実させるなど、働きやすい職場環境づくりに力を入れています。



北海道働き方改革推進企業 認定企業詳細			
社会福祉法人聖樹の杜			
認定日 令和2年（2020年）5月12日 有効期間 令和4年（2022年）5月31日		認定番号 S00042	
【企業情報】		【働き方改革の取組分野】	
所在地	従業員数	大区分	小区分
〒041-1111 亀田郡七飯町本町3丁目18番12号	56人（女性 47人、男性 9人）	多様な人材の活躍	女性
業種 （業務内容） 医療・福祉（児童福祉事業）	ホームページ http://www.sej.or.jp		高年齢者 障がい者
働き方改革の主な取組 ・若年層定着率向上のためのフォロー研修及び管理職との面談 ・年次有給休暇の取得促進（時間単位の年次有給休暇の付与） ・女性の育児休業取得率100% ・ICT導入による効率化		就業環境の改善	若者
			就業環境改善と非正規対策
		就業環境の改善	多様な働き方の導入
			仕事と子育て・介護等の両立
		生産性の向上	付加価値の向上 効率性の向上

その先の、道へ、北海道
Hokkaido Expanding Horizons

「みんなが笑顔になれる保育」

■保育目標 心も体もたくましい子どもに

まわりの人を思いやる 「やさしい気持ち」 をもてる子に
まわりの人をまもる 「たくましい身体」 な子に
まわりの人を支える 「つよい心」 をひめた子に

■保育方針

「全ての職員が、全ての子ども達を育む」 保育を
「手塩にかける」 労を惜まず、心をこめて、愛情を注ぐ保育を
「子ども達も先生方も、毎日が楽しくてわくわくする」 保育を
「相手を思いやる事が出来る人がつどう」 保育園に
「お父さん・お母さん・子ども達・先生方の笑顔があふれる」 保育園に



七飯ほんちょう保育園は

「こころ」「せいかつ」「あそび」を大切にしています



あそびを通した様々な体験



こころを育てる保育活動

日本の伝統的な行事や風習、しつけや挨拶などの守るべきお約束を大切にする心を育みます。

食育をはじめ、「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣を確立し、日常生活で使用する道具に触れたり、身の回りのことに自分自身の力で取り組むことを促します。

自然との深い関わりをもつ遊び方を中心に、はだし保育やリズム運動など、楽しみながら体を動かすことで、コミュニケーション能力を育みます。

「こころ」
「せいかつ」
「あそび」

体験を通して得るものが数多くあります

食育の一環として田植えや稲刈り、パン作り体験、園庭での野菜作りなど、作る楽しさや食べる喜びを学びます。その他、磯遊びや登山、鮭遡上見学や工場見学、お祭りへの参加などの様々な園外保育活動を行うことで、たくましさや社会性を育みます。

施設紹介 introduction

通常保育以外の3つのサービス／Service

延長保育事業

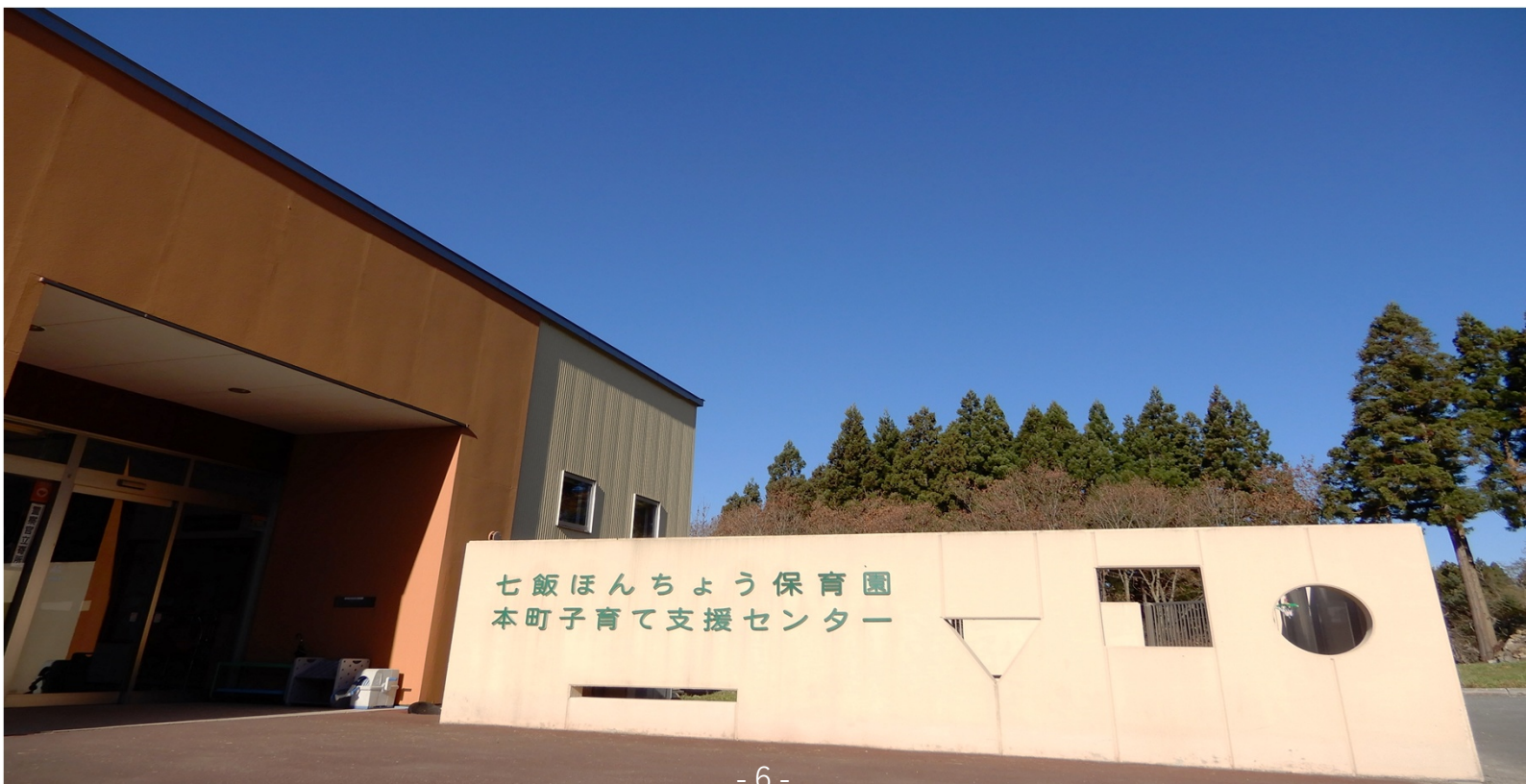
保護者の方が、仕事の都合で、通常の保育時間を超えて児童を預かってほしい場合に、時間を延長して行う保育です。

一時預かり事業

保護者の方が週に数日のパートタイム、突然の病気・通院、お年寄りの介護、集団保育の体験、買い物、育児のリフレッシュ等の理由などにご利用いただくことができます。

体調不良児型保育事業

保育中の体調不良児を一時的に預かるほか、保育所入所児に対する保健的な対応や地域の子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援を実施する事業です。



「実りある心豊かな生活を目指して」

■ 運営方針

わたしたちは、成長・発達に支援が必要な幼児・児童等、また、日々サポートをしているご家族のため、新たな居場所を提供し、未来ある幼児・児童等が様々なサポートを受け、将来、自立した社会生活を営み、実りある豊かな暮らしを送れるように、専門知識をもったスタッフが支援していきます。

■ 事業内容

日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行う療育（支援）施設です。また、児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・指定障害児相談支援を実施事業とし、障がい児やその家族に対する支援や助言を行う、地域における中核的な支援施設です。

にじのはしは『3つの育み』を大切にしています

療育

何らかの困りごとを持っている、幼児・児童等が通って頂くことで、専門スタッフが成長や発達に応じて、集団・個別に療育（支援）や、生活能力向上のために必要な学習を支援し、発達・自立促進のお手伝いをします。

色育

毎日、見る・感じる・触れる色を利用して、言葉ではうまく伝えることが難しい幼児・児童等が、ご家庭でのコミュニケーションやスキンシップの一助になるよう取り組みます。決まった課題の中で、楽しむだけでなく自由な発想・空間で色と触れ合っていきます。
※日本色育推進会

食育

生活する上で欠かすことのできない食事。食事の自立や、集団で食べるための食育支援をしながら、食に対する、歯・口の役割と食べる大切さ・楽しさを育みます。



個別の計画に基づいた療育支援



色を通したコミュニケーション



田植えや稲刈り等の食育活動

施設紹介 introduction

サービス／Service

児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行います。

放課後等デイサービス

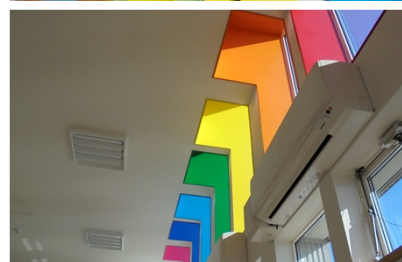
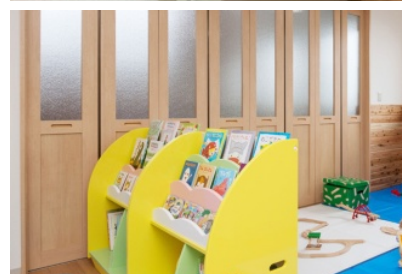
授業の終了後又は学校の休業日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行います。

保育所等訪問支援

保育所等を訪問し、児童に対して、対象児童以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他必要な支援を行います。

指定障害児相談支援

障害児が障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービスなど）を利用する前に障害児支援利用計画を作成し（障害児支援利用援助）、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う（継続障害児支援利用援助）等の支援を行います。





▷ Pickup

保育士

食事やトイレ、着替えなど身の回りのサポート、生活する上での基本的な生活習慣を身に着ける他、遊びや課題などを通して社会性や協調性を養う仕事。その他、保護者から、育児などに関する相談へのアドバイスやサポートを行う。

子供達の「おはよう！」からスタートする私の一日。朝から元気な子供達の姿を見るだけで、私も元気をもらうことができ、力がみなぎってきます。自然豊かな七飯ほんちょう保育園では、素敵な環境の中、子供達や保育士の笑い声がたくさんあふれています。そんな明るい保育園で一緒に過ごし、笑顔になれる私はとても幸せだなと感じています。また、子供達の成長を保護者の皆様と一緒に見守ることができるのは、私達保育士の一番の喜びなのではないかと思っています。小さな頃から見守っていた子供達が卒園する時に「先生、ありがとう。」と言う姿にとっても感動し涙が止まらなくなります。その成長の中に自分も携わった事が本当に嬉しく、「これからも頑張ろう」と思います。



平成22年採用
所属:七飯ほんちょう保育園

保育士

保育士の仕事は多岐に渡り、日々の保育の他、園だよりなど配布物の作成、季節イベントや行事の計画、実行、壁面の制作などがある。また、職員会議を通して、園としての情報共有も行っている。

子供と過ごすことが何よりも幸せを感じている毎日です。子供の成長のお手伝いができることにやりがいを感じています。出来なかったことが出来るようになった時の笑顔！頑張っている時の真剣な子供の姿を毎日見ているからこそ、一つ一つの小さな成長でも感動できる、そんな魅力がたくさんある仕事です。子供の気持ちを大切に、毎日笑顔で「楽しかったね」と、一日が過ぎていく保育を目指していると、「明日は子供達とどんな楽しいことしようかな」と、自然と考えてしまいます。これからも、子供達と笑顔で楽しい毎日を過ごしていきたいです。



平成26年採用
所属:七飯ほんちょう保育園

調理員

保育園の調理師の主な仕事は子どもたちの給食とおやつ作り、幼児の離乳食などです。その他、アレルギーのある子どもの食事管理も任せられます。調理師の仕事は食生活に関連する一貫した管理も重要となります。小さな子どもが通う保育園では食の安全のために食器の洗浄や清掃といった衛生管理は欠かせません。バクテリアや細菌から子どもを守るためにクリーンな環境を整えることは大事な作業です。

飽食の時代と言われる今日。一步外へ出れば保存料や酸化防止剤などの薬品添加された既製食品が店頭へ数多く並べられています。それらはとても便利な反面、体内へ蓄積された添加物がどのような化学変化を起こし、人体にどんな影響があるのかは、未だはっきりと解明されていません。七飯ほんちょう保育園の食事は、その日の朝に納品される野菜や肉などの食材を主に使用し、私たち調理師が手作りをしています。「食べることは生きること」私はこれまで携わった仕事を通じて、そう学んできました。「今日も給食美味しかった」そう言ってもらえる様、手作りにこだわり仕事へ取り組んでいます。



平成24年採用
所属:七飯ほんちょう保育園



児童発達支援管理責任者



平成27年採用
所属:にじのはし

児童や家族へのアセスメントに基づく個別支援計画を作成し、現場をリードする役割を担う他、職員への指導も行う。

笑顔あふれる、にじのはしでは、療育・色育・食育を三本柱として、様々な取り組みを行っています。一人ひとりの性格や特性を本人・ご家族・周囲が理解し、自分に合った方法で工夫しながら日常生活を送っていくことで、本来持っている力を引き出し、強みを生かしながら過ごしていくことができます。私たちは、本人やご家族の一番の応援団として、日々サポートさせて頂いております。成長し続ける子供たちの姿を近くで感じられることができ、幸せな気持ちでいっぱいです。

看護職員



平成27年採用
所属:にじのはし

施設内の衛生管理をはじめとした看護業務の他、医療的ケアが必要な児童に対しての支援も行う。施設に欠かせない、マザーテレサ的存在。

日々の支援の中でたくさんの笑顔を見せてくれる子供たち、特に褒められた時や、自分が認められた時に見せてくれる子供たちの笑顔が私は大好きです。自分自身を認め、自分の価値を感じる「自己肯定感」を支援の中でも大切にしていきたいと思っています。未来ある子供たちの笑顔がこれから先もずっと続くよう、支援を通し寄り添っていきます。また、医療的ケアを必要とされるお子様を始めとする、利用者様の体調管理もしっかりと行ってまいります。

支援員（保育士）



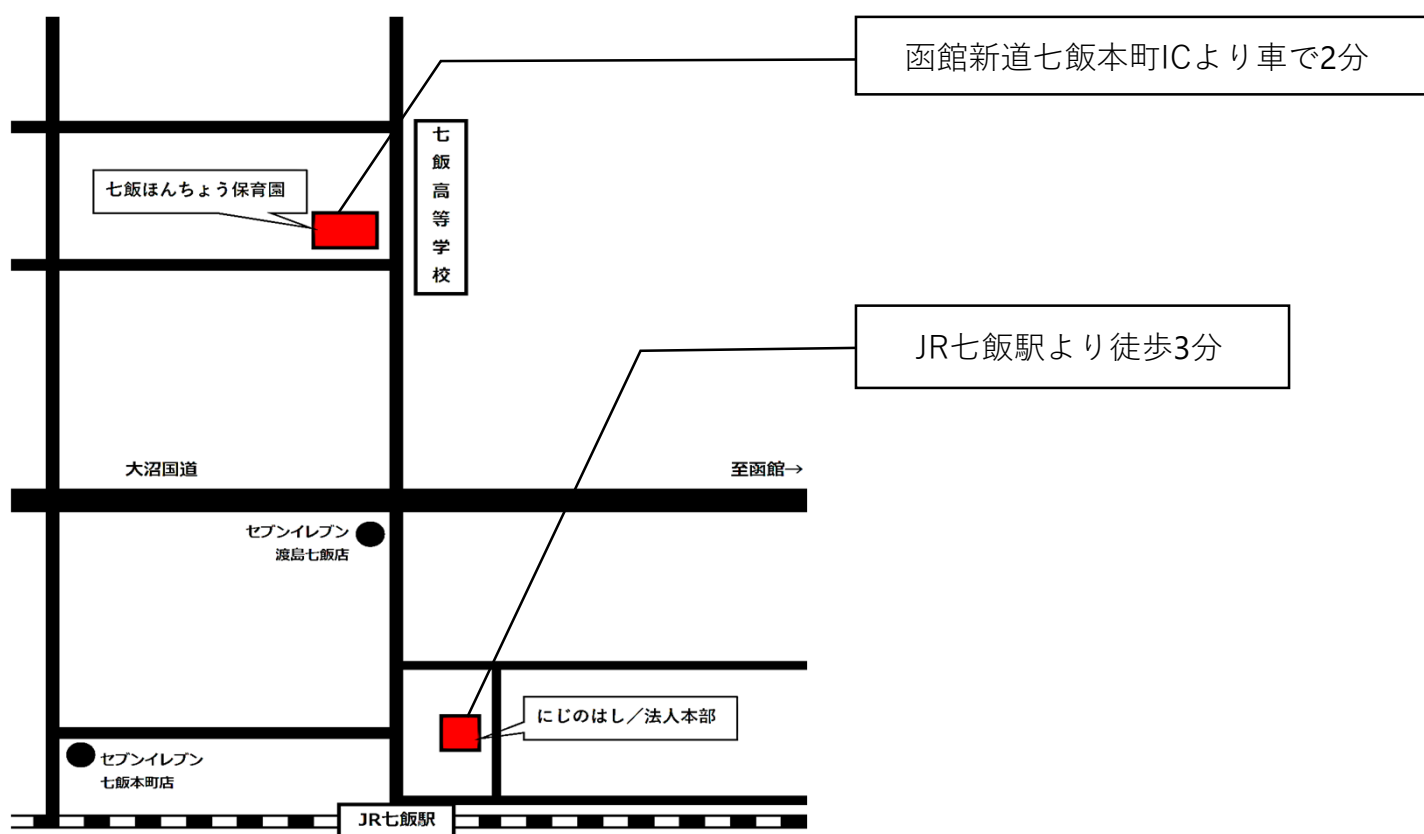
平成28年採用
所属:にじのはし

支援が必要な児童に対し、将来、社会的に自立できることを目的とし、適切な療育支援を行う。対象年齢は18歳までとなっており、幅広い知識が必要である。

保育や支援の場では、女性が多いイメージがありますが、聖樹の杜には総勢10名の男性職員がおり、男女ともにとても働きやすい環境で過ごさせています。利用者様や保護者様に寄り添い、いつでも頼られる存在として日々支援に取り組んでいます。人格を形成する上でとても大切な時間をさせて頂いている自覚を持ち、自分もそうであった「大きくなったら、先生みたいになりたい!」そんな支援者になれるよう、これからも一緒に成長したいと思っています。



【アクセスマップ】



聖樹の杜ホームページ

せいじゅのもり 検索

<http://www.sej.or.jp>



社会福祉法人 聖樹の杜

〒041-1111 北海道亀田郡七飯町本町3丁目18番12号

電話：0138-65-8000

FAX：0138-65-3805

MAIL：info@sej.or.jp